

1.背景

- ・東京都は、「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方報告書（以下、報告書という。）」（平成20年3月）で示されたプロセス指標の許容値、目標値を基に都内区市町村におけるがん検診の精度管理を支援してきた。
- ・その後、がん検診のあり方検討会における報告書改定の検討を経て、「がん検診事業のあり方について」（令和5年6月）においてプロセス指標の新たな基準値が示され、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針（以下、国指針という。）」が改正された。

2.改正前後のプロセス指標基準値

【改正前】

数値設定の対象は各がん共通で40歳から74歳まで  
(子宮頸がんのみ20歳から74歳)

		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
精検受診率	許容値	70%以上	70%以上	70%以上	80%以上	70%以上
	目標値	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
未把握率	許容値	10%以下	10%以下	10%以下	10%以下	10%以下
	目標値	5%以下	5%以下	5%以下	5%以下	5%以下
未受診率	許容値	20%以下	20%以下	20%以下	20%以下	20%以下
	目標値	5%以下	5%以下	5%以下	5%以下	5%以下
要精検率	許容値	11%以下	7%以下	3%以下	11%以下	1.4%以下
がん発見率	許容値	0.11%以上	0.13%以上	0.03%以上	0.23%以上	0.05%以上
陽性反応適中度	許容値	1.0%以上	1.9%以上	1.3%以上	2.5%以上	4%以上

【改正後】

検診として効果がある感度、特異度の値を達成するために必要と考えられるプロセス指標の値が基準値として新たに設定された。

○主な変更点

- ・ **許容値が廃止され、精検受診率の基準値は全がん種90%となり、未把握率、未受診率の基準値も廃止された。**
  - ・ **基準値の対象年齢は、従来の上限74歳に加え、上限69歳の区分が追加された。**
  - ・ 要精検率・がん発見率・陽性反応適中度の基準値が細分化され、性別及び受診歴別に示された。
- ※子宮頸がんに関しては、さらに対象年齢が20歳～69歳（74歳）、20～39歳、40～69歳（74歳）で分かれている。

# 「がん検診事業のあり方について」（令和5年6月）を踏まえたプロセス指標の変更について（案）

## 3. 今後の方向性～評価に使用する基準値について～（令和6年度以降）

- ・「がん検診事業のあり方について」に示されている基準値のうち、現行の基準値に対応するものは以下のとおり。
  - ・ **胃がん検診、肺がん検診及び乳がん検診のプロセス指標には、受診者の性質に応じた2種類の基準値が設定されている。**
  - ・ ①の基準値は、がん検診に類する検査・検診を受診する機会が指針どおりのがん検診以外にない検診対象者を想定
  - ・ ②の基準値は、がん検診に類する検査・検診を受診する機会が他にある検診対象者を想定
- 上記3つのがん検診については、採用する基準値に検討が必要。

### 【69歳以下】

	胃がん		大腸がん	肺がん		乳がん		子宮頸がん*		
	(検診間隔2年) ①	(検診間隔1年) ②		(検診以外の肺に関する検査の受診なし) ①	(検診以外の肺に関する検査の受診考慮) ②	(すべての受診者の検診間隔が2年) ①	(連続受診者がいることを考慮) ②	20～69歳	20～39歳	40歳～69歳
精検受診率	90%以上		90%以上	90%以上		90%以上		90%以上		
要精検率	7.1%以下	7.0%以下	6.2%以下	2.0%以下	2.0%以下	6.8%以下	6.8%以下	2.7%以下	4.2%以下	2.0%以下
がん発見率	0.13%以上	0.08%以上	0.16%以上	0.06%以上	0.03%以上	0.38%以上	0.29%以上	0.16%以上	0.18%以上	0.15%以上
陽性反応適中度	1.9%以上	1.1%以上	2.6%以上	3.0%以上	1.6%以上	5.5%以上	4.3%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.4%以上

### 【74歳以下】 ※全年齢を対象とした評価に活用することを想定

	胃がん		大腸がん	肺がん		乳がん		子宮頸がん*		
	(検診間隔2年) ①	(検診間隔1年) ②		(検診以外の肺に関する検査の受診なし) ①	(検診以外の肺に関する検査の受診考慮) ②	(すべての受診者の検診間隔が2年) ①	(連続受診者がいることを考慮) ②	20～74歳	20～39歳	40歳～74歳
精検受診率	90%以上		90%以上	90%以上		90%以上		90%以上		
要精検率	7.7%以下	7.6%以下	6.8%以下	2.4%以下	2.3%以下	6.5%以下	6.4%以下	2.5%以下	4.2%以下	1.9%以下
がん発見率	0.19%以上	0.11%以上	0.21%以上	0.10%以上	0.05%以上	0.40%以上	0.31%以上	0.15%以上	0.18%以上	0.14%以上
陽性反応適中度	2.5%以上	1.5%以上	3.0%以上	4.1%以上	2.2%以上	6.1%以上	4.8%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.3%以上

\*子宮頸がんはCIN3以上の発見率または陽性反応の適中度

# 「がん検診事業のあり方について」（令和5年6月）を踏まえたプロセス指標の変更について（案）

## 4. 令和5年度第2回がん部会での経緯

- 厚生労働省からプロセス指標の新たな基準値が示され、都においても基準値を改正する必要がある。  
⇒今回は肺がんと乳がんで、基準値①と基準値②の2つの案を検討したい。なお、胃がんについては、議論済み。

	胃がん (検診間隔2年) (検診間隔1年)		大腸がん	肺がん (検診以外の肺に関する検査の受診なし) (検診以外の肺に関する検査の受診考慮)		乳がん (すべての受診者の検診間隔が2年) (連続受診者がいることを考慮)		20~69歳	子宮頸がん*	
	①	②		①	②	①	②		20~39歳	40歳~69歳
精検受診率	90%以上		90%以上	90%以上		90%以上			90%以上	
要精検率	7.1%以下	7.0%以下	6.2%以下	2.0%以下	2.0%以下	6.8%以下	6.8%以下	2.7%以下	4.2%以下	2.0%以下
がん発見率	0.13%以上	0.08%以上	0.16%以上	0.06%以上	0.03%以上	0.38%以上	0.29%以上	0.16%以上	0.18%以上	0.15%以上
陽性反応適中度	1.9%以上	1.1%以上	2.6%以上	3.0%以上	1.6%以上	5.5%以上	4.3%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.4%以上

	胃がん (検診間隔2年) (検診間隔1年)		大腸がん	肺がん (検診以外の肺に関する検査の受診なし) (検診以外の肺に関する検査の受診考慮)		乳がん (すべての受診者の検診間隔が2年) (連続受診者がいることを考慮)		20~74歳	子宮頸がん*	
	①	②		①	②	①	②		20~39歳	40歳~74歳
精検受診率	90%以上		90%以上	90%以上		90%以上			90%以上	
要精検率	7.7%以下	7.6%以下	6.8%以下	2.4%以下	2.3%以下	6.5%以下	6.4%以下	2.5%以下	4.2%以下	1.9%以下
がん発見率	0.19%以上	0.11%以上	0.21%以上	0.10%以上	0.05%以上	0.40%以上	0.31%以上	0.15%以上	0.18%以上	0.14%以上
陽性反応適中度	2.5%以上	1.5%以上	3.0%以上	4.1%以上	2.2%以上	6.1%以上	4.8%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.3%以上

\*子宮頸がんはCIN3以上の発見率または陽性反応の適中度

検討にあたり、乳がんと肺がんのみ、がん発見率及び陽性反応適中度が現実の数字に合わないという実態があることを考慮する必要がある。

※2がん共通で受診者が複数の検査を受診していることが考えられるため。

(乳がんは毎年検診を受診している方が、肺がんはがん検診以外でレントゲン撮っている方が一定数存在する。)

⇒検討に時間を要する内容のため、令和5年度第2回がん部会では一端預かりとさせていただき、会終了後に配布する「意見シート」で各委員よりご意見をいただいた。

⇒委員からの意見を踏まえ、本がん部会で再度お諮りしたい。

## 5. 前回の議事録と御意見シート

### 1) 議事録

- ・今までの基準値が実際の乳がん検診と合わないことは、肌で感じていて、合わないから議論がずっと行われていたことに関しても、同感している。
- ・新たな基準値をどういう形で使っていくかということに関しては、結構難しいと思う。
- ・都の案②でも、実情からそんなにかき離れてここは駄目という自治体は、実際ないかなと思いながら聞いていた。
- ・今までエビデンスを貫くという形でやってきたと思うので、乳がんのマンモグラフィー検診は、2年に一度で一応やっているし、1年に一度というのは現実的に行われてはいるのだが、その姿勢を貫くのであれば、①2年に一度のほうが、理論的ではあると思う。

### 2) 御意見シート

- ・市区町村に指標をお知らせする場合、乳がん検診の場合、①2年間隔のものと②連続受診を考慮する指標とがあり、どちらを採用するかあたり、②連続受診を考慮する指標のほうが甘くなるが、やはり入れないもので指標とすべき。

## 6. 今後の方針について

当面は、肺がん（②検診以外の肺に関する検査の受診考慮）、乳がん（②連続受診者がいることを考慮）のプロセス指標を採用してはどうか。

### 理由1）がん発見率・陽性反応適中度は高ければよいというものではない。

- ・基準値①を採用した場合、自治体や検診実施機関が「がん検診＝がんの発見が重要」という誤った認識を持つ可能性があり、偽陽性や過剰診断など、受診者の不利益が大きくなることが懸念される。
  - ・精検受診率に課題を抱える都においては、まずは、精検受診率の改善で、達成できる範囲に基準を置くことが重要である。
- ⇒都は今まで両指標について指導してこなかったが、今後は目を向けていきたい。
- ⇒いずれは、段階的に基準値②から①へ移行したい。

### 理由2）両指標が基準値に達していない自治体数の増加で、自治体の改善意欲低下の恐れ・住民からの不信感の恐れ

- ・区市町村別精度管理評価事業結果シートにおいて、許容値を逸脱した検診のプロセス指標については赤字で示し、「評価コメント」で助言し、公表している。
- ・基準値を上げることで赤字になる自治体が自ずと増える。
- ・基準値の到達が見込めないことから、区市町村の改善意欲の低下（他の多くの自治体でも達成していないので）にもつながりかねない。
- ・両指標が基準値に達していない自分の自治体を見て、住民が自治体によるがん検診を受け控える可能性がある。

### 理由3）都内自治体のがん検診精度管理評価の底上げ

- ・検診受診者への不利益を減らすには、特に精度管理状況の改善が必要な自治体への支援に注力したい。
- ・底上げを目指すためにも、理念的な基準値①ではなく、ある程度実務に即した基準値②を設定し、達成できていない自治体へ効果的な支援を行っていきたい。

### 7.従来の評価方法

・各検診の全対象年齢について①検診方法（集団・個別）別、②性別、③受診歴（初回・非初回）別に各プロセス指標を集計、報告書に示された基準値を基に、①と集団個別計の値を評価。

### 8.今後の方向性～評価対象年齢について～（令和6年度以降）

評価対象年齢は以下のとおりとする。

①区市町村・都民向けの公表資料に関しては、  
**特にがん検診の受診を推奨されている各がん検診対象年齢～69歳の値で集計し、69歳以下の基準値をもとに評価を行う。**

【理由】

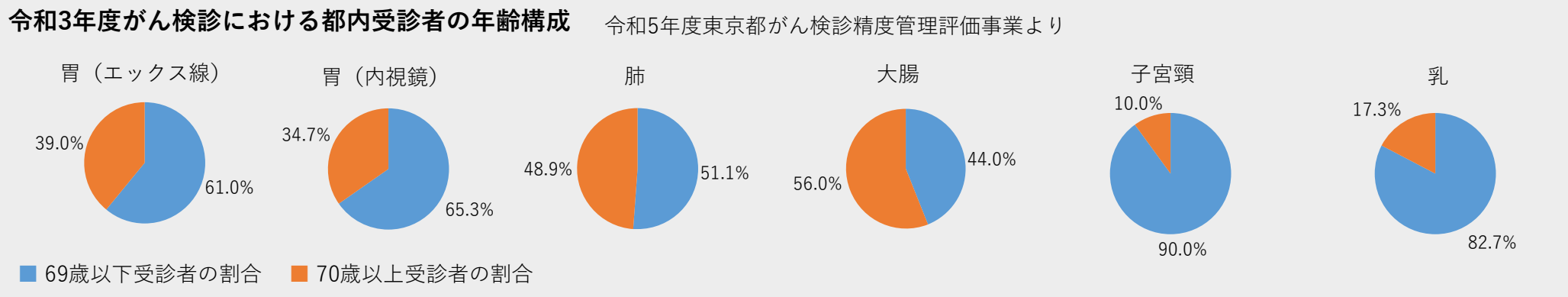
- ・国指針は69歳以下の検診対象者の受診を特に推奨しており、当該年齢層のプロセス指標を重視した精度管理を実施していくため。
- ・国の現行計画（がん対策推進基本計画（令和5年3月））における受診率・精検受診率の算出は、検診対象年齢～69歳の受診者を前提としており、国計画に沿った評価ができる。

②今後3年間（令和6～8年度）は引き続き検診対象年齢～全年齢でも評価を行い、区市町村の支援に活用する。※集計は令和8年度以降も継続

【理由】

- ・過年度の東京都がん検診精度管理評価事業結果と比較するため。
- ・都内における70歳以上の受診者は一定の割合を占めており、70歳以上の受診者に対して実施された検診についても精度管理が必要であるため。

なお、令和8年度以降も特に高齢者の受診割合が高い地域などでは区市町村訪問の際に活用する。  
 ※都内における受診者の年齢構成は以下のとおり



「がん検診事業のあり方について」（令和5年6月）を踏まえたプロセス指標の変更について（案）

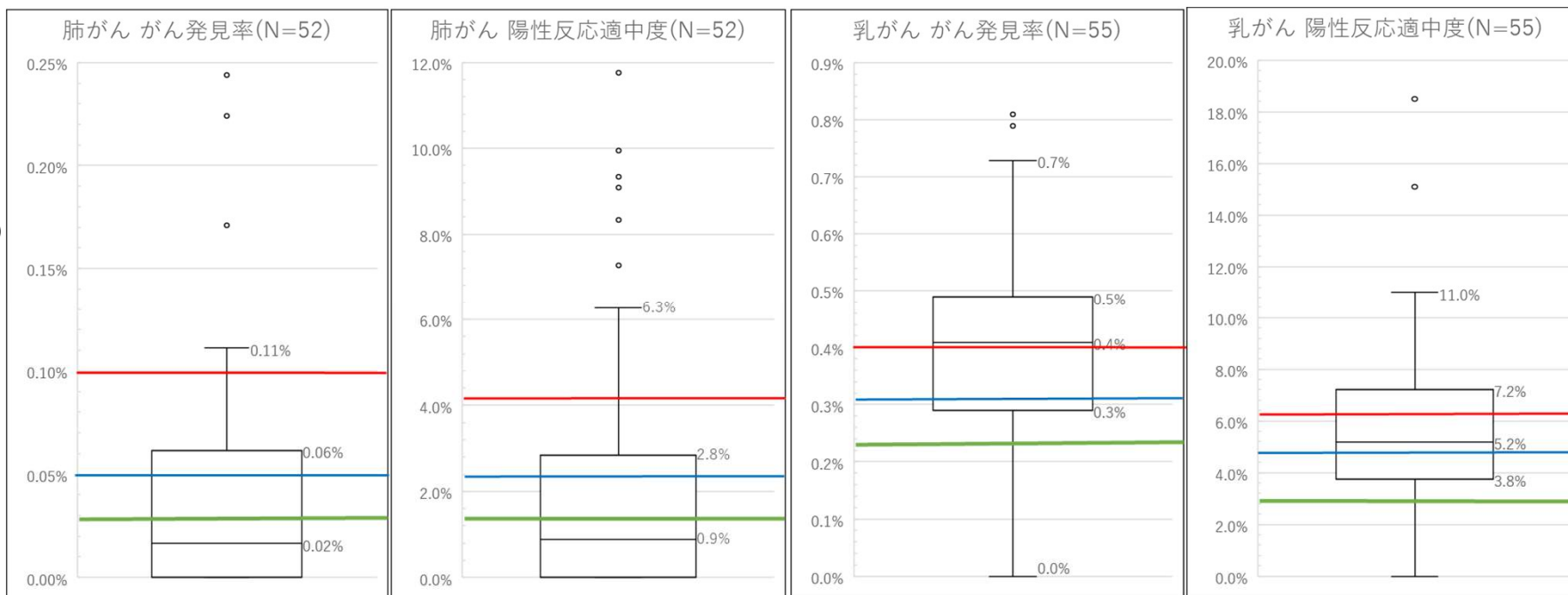
※参考（前回資料）

- 胃がん検診について、胃部エックス線検査を実施している都内自治体のうち、41/54自治体(75.9%)が1年間隔で胃がん検診を実施しているため、胃部エックス線検査については、②検診間隔1年の基準値を用いて評価する。
- ※胃がん検診は2年に1回の受診が原則。胃部X線検査については「当分の間、年1回の受診でも差し支えない」とされている。胃内視鏡検査については、①検診間隔2年の基準値を用いて評価する。
- 肺がん検診及び乳がん検診についても、以下に示す東京都の現状を鑑み、②の基準値で評価を行いたい。

【R3プロセス指標】

※全年齢対象  
 ※検診未実施、要精検率0%、  
 精検受診率0%の自治体は除外

— ①  
 — ②  
 — ③これまでの基準値(許容値)



①を達成している自治体数	4	8	28	17
②を達成している自治体数	16	18	40	30
③を達成している自治体数	22	22	45	44

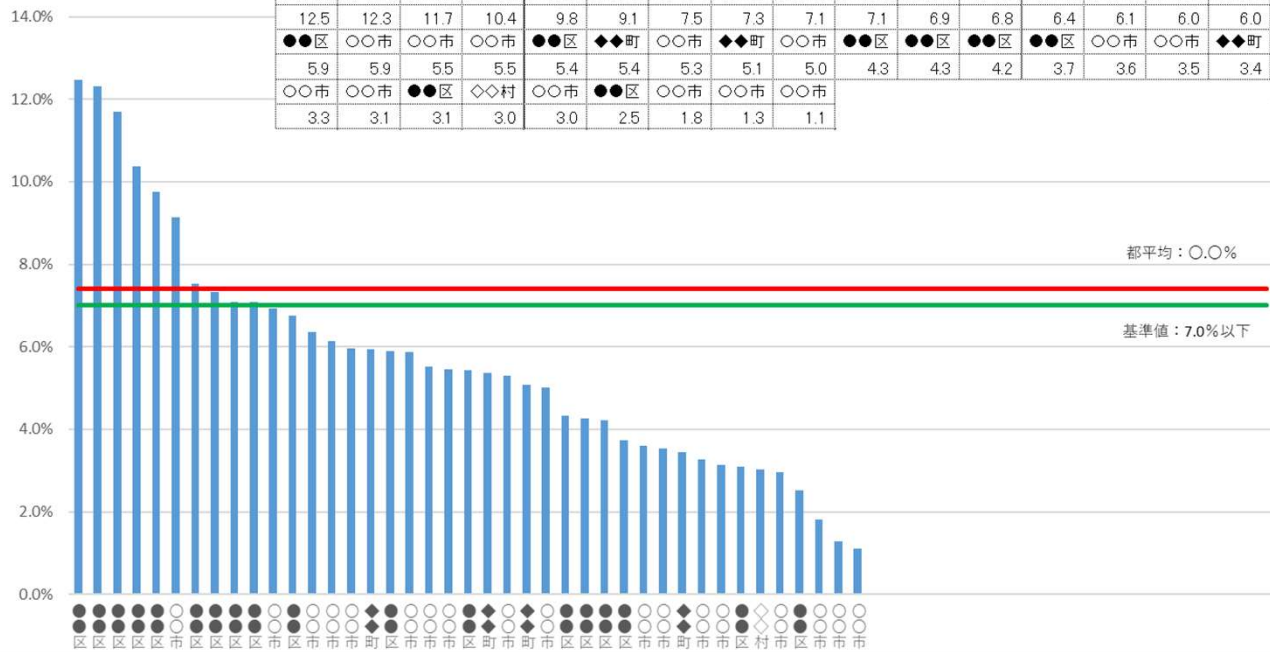
※「上ひげ」の端の値は「第三四分位数+1.5×四分位範囲」の値以下の最大値、「下ひげ」の端の値は「第一四分位数-1.5×四分位範囲」の値以上の最小値「箱」の中に引かれた線は中央値

9.公表資料イメージ（案）

胃がん検診（胃部エックス線） 要精検率（令和〇年度、集団検診）（%）

<要精検率(%)> ※自治体名の並び順は、グラフの並び順と同様です。

●●区	●●区	●●区	●●区	●●区	〇〇市	●●区	●●区	●●区	●●区	〇〇市	●●区	〇〇市	〇〇市	〇〇市	〇〇市	◆◆町
12.5	12.3	11.7	10.4	9.8	9.1	7.5	7.3	7.1	7.1	6.9	6.8	6.4	6.1	6.0	6.0	
●●区	〇〇市	〇〇市	〇〇市	●●区	◆◆町	〇〇市	◆◆町	〇〇市	●●区	●●区	●●区	●●区	〇〇市	〇〇市	◆◆町	
5.9	5.9	5.5	5.5	5.4	5.4	5.3	5.1	5.0	4.3	4.3	4.2	3.7	3.6	3.5	3.4	
〇〇市	〇〇市	●●区	◇◇村	〇〇市	●●区	〇〇市	〇〇市	〇〇市								
3.3	3.1	3.1	3.0	3.0	2.5	1.8	1.3	1.1								



検診実施方法（集団・個別）別に下記のプロセス指標に関するグラフ（降順）を作成し、公表する。

- ・受診率
- ・要精検率
- ・精検受診率
- ・未受診率
- ・精検未把握率

【変更前】  
検診対象年齢以上（上限なし）

【変更後】  
検診対象年齢～69歳以下で



「がん検診事業のあり方について」（令和5年6月）を踏まえたプロセス指標の変更について（案）

※参考（前回資料）

【●●区】 令和4年度 東京都がん検診精度管理評価事業結果シート  
 <胃がん検診(胃部エックス線検査)>

がん検診実施状況

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況(R4年度)>

対象年齢(90歳以上・隔年)	
検査方法(胃部エックス線検査)	
検査方法(胃内視鏡検査)	

<国の指針に基づくもの以外の実施状況(R4年度)>

対象年齢	
上記以外	

<住民の検診受診状況(R2年度)>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	2,620,724	2,959,281	5,580,005
対象者数(※)	1,360,730	1,536,561	2,897,291
受診者数(胃X線)	43,074	48,655	91,729

69歳以下で集計・評価する

がん検診の精度管理指標の状況

◆プロセス指標 (R2年度)

	実測値	集団	個別	計
受診率	3.4%	7.9%	11.4%	
要精検率	7.7%	8.1%	7.8%	
精検受診率	74.6%	68.6%	71.8%	
精検未把握率	20.6%	21.8%	21.1%	
精検未受診率	4.8%	9.6%	7.1%	
陽性反応適中率	1.4%	1.2%	1.3%	
がん発見率	0.10%	0.10%	0.10%	

69歳以下で集計・評価する

【評価コメント】

<受診率>  
 目標値未達成のため、受診率50%を目指して取り組んでください。

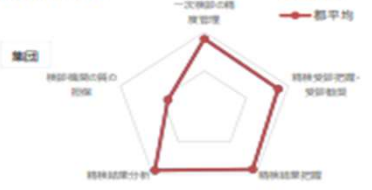
<精検受診率・未受診率・未把握率>  
 許容値を満たしています。目標値90%の達成に向けた取組の強化をご検討ください。

<要精検率・陽性反応適中率・がん発見率>  
 指標値を注視し、極端な高値あるいは(許容値を満たしていても)極端な低値がある場合は、受診者集団におけるがん有病割合の偏り(年齢層や、(※)初回受診者の割合の偏り、有症状者の検診受診率)や、要精検の問題、精検受診率の低値等が原因として想定されます。改善に向けた取組をご検討ください。

【取組例】  
 まずは受診者の特性を分析し、有症状者を診療へ誘導する体制の整備や、受診率の低い層への重点的な受診勧奨を検討する。次に検診機関の検査方法、検査体制、判定基準等を確認し、不適切な点がある場合は、改善する。また精検受診率が低い場合は、向上を目指す。

◆技術・体制指標 (令和4年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」結果より)

【項目別実施率】



【都評価基準に基づく評価】

	実施率	評価
集団検診	85.9%	C
個別検診	83.6%	C

【評価コメント】

■<精検受診把握・受診勧奨>  
 「精検結果報告書(都統一様式)」の使用や報告書回収ルートを整備して未受診者に精検受診勧奨を行います。結果報告を依頼した医療機関をリスト化した精検機関一覧の要精検者への提示も有効です。

<検診機関の質の担保>  
 「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は仕様書の内容が遵守されたか確認しましょう。また、検診機関ごとにチェックリスト実施状況やプロセス指標をフィードバックしましょう。

■<精検受診把握・受診勧奨>  
 「精検結果報告書(都統一様式)」の使用や報告書回収ルートを整備して未受診者に精検受診勧奨を行います。結果報告を依頼した医療機関をリスト化した精検機関一覧の要精検者への提示も有効です。

<検診機関の質の担保>  
 「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は仕様書の内容が遵守されたか確認しましょう。また、検診機関ごとにチェックリスト実施状況やプロセス指標をフィードバックしましょう。

検診対象年齢～69歳以下で  
 下記の指標を結果シートとしてまとめ、公表する。

- プロセス指標
  - ・ 受診率
  - ・ 要精検率
  - ・ 精検受診率
  - ・ 未受診率
  - ・ 精検未把握率

【変更前】  
 検診対象年齢以上（上限なし）

【変更後】  
 検診対象年齢～69歳以下で

- 技術・体制指標 ※変更なし

「がん検診事業のあり方について」（令和5年6月）を踏まえたプロセス指標の変更について（案）

※参考（前回資料）

参考：基準値（74歳以下）

		胃がん (胃エックス線)	胃がん (胃内視鏡)	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん			
		(検診間隔1年)	(検診間隔2年)		(検診以外の肺に関する検査の受診考慮)	(連続受診者がいることを考慮)	20~74歳	20~39歳	40歳~74歳	
<b>精検受診率</b>		<b>90%以上</b>	<b>90%以上</b>	<b>90%以上</b>	<b>90%以上</b>	<b>90%以上</b>	<b>90%以上</b>			
<b>要精検率</b>	<b>男女計</b>	受診歴計	7.6%以下	7.7%以下	6.8%以下	2.3%以下	6.4%以下	2.5%以下	4.2%以下	1.9%以下
		初回	10.3%以下	10.4%以下	8.9%以下	3.1%以下	9.7%以下	3.7%以下	4.6%以下	2.9%以下
		非初回	7.1%以下	7.1%以下	6.4%以下	2.0%以下	5.3%以下	2.0%以下	3.8%以下	1.6%以下
	男性	受診歴計	9.3%以下	9.4%以下	8.6%以下	2.8%以下	-	-	-	-
		初回	12.6%以下	12.7%以下	11.1%以下	3.9%以下	-	-	-	-
		非初回	8.6%以下	8.7%以下	8.0%以下	2.4%以下	-	-	-	-
	女性	受診歴計	6.6%以下	6.6%以下	5.8%以下	2.0%以下	6.4%以下	2.5%以下	4.2%以下	1.9%以下
		初回	12.6%以下	12.7%以下	7.5%以下	2.7%以下	9.7%以下	3.7%以下	4.6%以下	2.9%以下
		非初回	8.6%以下	8.7%以下	5.4%以下	1.8%以下	5.3%以下	2.0%以下	3.8%以下	1.6%以下
<b>がん発見率</b>	<b>男女計</b>	受診歴計	0.11%以上	0.19%以上	0.21%以上	0.05%以上	0.31%以上	0.15%以上	0.18%以上	0.14%以上
		初回	0.19%以上	0.33%以上	0.49%以上	0.07%以上	0.52%以上	0.30%以上	0.22%以上	0.36%以上
		非初回	0.10%以上	0.16%以上	0.15%以上	0.05%以上	0.23%以上	0.08%以上	0.14%以上	0.07%以上
	男性	受診歴計	0.19%以上	0.32%以上	0.31%以上	0.08%以上	-	-	-	-
		初回	0.31%以上	0.53%以上	0.73%以上	0.10%以上	-	-	-	-
		非初回	0.16%以上	0.27%以上	0.22%以上	0.07%以上	-	-	-	-
	女性	受診歴計	0.05%以上	0.09%以上	0.14%以上	0.03%以上	0.31%以上	0.15%以上	0.18%以上	0.14%以上
		初回	0.09%以上	0.16%以上	0.34%以上	0.05%以上	0.52%以上	0.30%以上	0.22%以上	0.36%以上
		非初回	0.05%以上	0.08%以上	0.11%以上	0.03%以上	0.23%以上	0.08%以上	0.14%以上	0.07%以上
<b>陽性反応適中度</b>	<b>男女計</b>	受診歴計	1.5%以上	2.5%以上	3.0%以上	2.2%以上	4.8%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.3%以上
		初回	1.9%以上	3.1%以上	5.5%以上	2.2%以上	5.3%以上	8.1%以上	4.9%以上	12.8%以上
		非初回	1.4%以上	2.3%以上	2.3%以上	2.2%以上	4.4%以上	4.1%以上	3.8%以上	4.3%以上
	男性	受診歴計	2.0%以上	3.4%以上	3.6%以上	2.9%以上	-	-	-	-
		初回	2.5%以上	4.2%以上	6.6%以上	2.6%以上	-	-	-	-
		非初回	1.9%以上	3.2%以上	2.7%以上	3.0%以上	-	-	-	-
	女性	受診歴計	0.8%以上	1.4%以上	2.5%以上	1.7%以上	4.8%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.3%以上
		初回	1.1%以上	1.8%以上	4.5%以上	1.9%以上	5.3%以上	8.1%以上	4.9%以上	12.8%以上
		非初回	0.8%以上	1.3%以上	1.9%以上	1.5%以上	4.4%以上	4.1%以上	3.8%以上	4.3%以上

「がん検診事業のあり方について」（令和5年6月）を踏まえたプロセス指標の変更について（案）

※参考（前回資料）

参考：基準値（69歳以下）

		胃がん (胃エックス線) (検診間隔1年)	胃がん (胃内視鏡) (検診間隔2年)	大腸がん	肺がん (検診以外の肺に関する 検査の受診考慮)	乳がん (連続受診者がいるこ とを考慮)	20~69歳	子宮頸がん 20~39歳	40歳~69歳
<b>精検受診率</b>		<b>90%以上</b>	<b>90%以上</b>	<b>90%以上</b>	<b>90%以上</b>	<b>90%以上</b>		<b>90%以上</b>	
<b>男女計</b>	<b>受診歴計</b>	<b>7.0%以下</b>	<b>7.1%以下</b>	<b>6.2%以下</b>	<b>2.0%以下</b>	<b>6.8%以下</b>	<b>2.7%以下</b>	<b>4.2%以下</b>	<b>2.0%以下</b>
	初回	9.4%以下	9.5%以下	8.0%以下	2.6%以下	9.8%以下	3.8%以下	4.6%以下	3.0%以下
	非初回	6.4%以下	6.4%以下	5.8%以下	1.7%以下	5.5%以下	2.2%以下	3.8%以下	1.7%以下
<b>要精検率</b>	<b>受診歴計</b>	8.8%以下	8.9%以下	7.7%以下	2.3%以下	-	-	-	-
	男性	初回 11.6%以下	11.7%以下	9.8%以下	3.3%以下	-	-	-	-
	非初回	8.1%以下	8.2%以下	7.1%以下	1.8%以下	-	-	-	-
<b>女性</b>	<b>受診歴計</b>	5.7%以下	5.8%以下	5.4%以下	1.8%以下	6.8%以下	2.7%以下	4.2%以下	2.0%以下
	初回	9.4%以下	9.5%以下	6.9%以下	2.2%以下	9.8%以下	3.8%以下	4.6%以下	3.0%以下
	非初回	6.4%以下	6.4%以下	5.1%以下	1.7%以下	5.5%以下	2.2%以下	3.8%以下	1.7%以下
<b>がん発見率</b>	<b>受診歴計</b>	<b>0.08%以上</b>	<b>0.13%以上</b>	<b>0.16%以上</b>	<b>0.03%以上</b>	<b>0.29%以上</b>	<b>0.16%以上</b>	<b>0.18%以上</b>	<b>0.15%以上</b>
	男女計	初回 0.14%以上	0.24%以上	0.35%以上	0.04%以上	0.46%以上	0.30%以上	0.22%以上	0.38%以上
	非初回	0.06%以上	0.11%以上	0.11%以上	0.03%以上	0.22%以上	0.09%以上	0.14%以上	0.08%以上
<b>男性</b>	<b>受診歴計</b>	0.14%以上	0.23%以上	0.25%以上	0.05%以上	-	-	-	-
	初回	0.23%以上	0.39%以上	0.52%以上	0.06%以上	-	-	-	-
	非初回	0.11%以上	0.19%以上	0.25%以上	0.05%以上	-	-	-	-
<b>女性</b>	<b>受診歴計</b>	0.04%以上	0.07%以上	0.12%以上	0.02%以上	0.29%以上	0.16%以上	0.18%以上	0.15%以上
	初回	0.07%以上	0.11%以上	0.26%以上	0.03%以上	0.46%以上	0.30%以上	0.22%以上	0.38%以上
	非初回	0.03%以上	0.06%以上	0.28%以上	0.02%以上	0.22%以上	0.09%以上	0.14%以上	0.08%以上
<b>陽性反応適中度</b>	<b>男女計</b>	<b>受診歴計</b> 1.1%以上	<b>1.9%以上</b>	<b>2.6%以上</b>	<b>1.6%以上</b>	<b>4.3%以上</b>	<b>5.9%以上</b>	<b>4.4%以上</b>	<b>7.4%以上</b>
	初回	1.5%以上	2.5%以上	4.4%以上	1.6%以上	4.7%以上	8.0%以上	4.9%以上	12.6%以上
	非初回	1.0%以上	1.7%以上	1.9%以上	1.6%以上	4.1%以上	4.2%以上	3.8%以上	4.5%以上
<b>男性</b>	<b>受診歴計</b>	1.5%以上	2.6%以上	3.2%以上	2.3%以上	-	-	-	-
	初回	2.0%以上	3.3%以上	5.2%以上	2.0%以上	-	-	-	-
	非初回	1.4%以上	2.3%以上	2.3%以上	2.5%以上	-	-	-	-
<b>女性</b>	<b>受診歴計</b>	0.7%以上	1.2%以上	2.1%以上	1.2%以上	4.3%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.4%以上
	初回	0.9%以上	1.5%以上	3.7%以上	1.4%以上	4.7%以上	8.0%以上	4.9%以上	12.6%以上
	非初回	0.6%以上	1.1%以上	1.6%以上	1.1%以上	4.1%以上	4.2%以上	3.8%以上	4.5%以上